



一流を目指す富士中学校

学校だより

http://school.city.koshigaya.saitama.jp/fuji_j/

2023年度
令和5年度6月号
校長 佐藤 勝俊
教育目標
『志に燃える』
越谷市立富士中学校

さらに良い方法がある・・・それを見つけよ

校長 佐藤勝俊

校舎北側にある紫陽花が輝いて見える時期となりました。梅雨入りかなと感じられる天気が続く中で6月を迎えます。今月、中旬に3年生が東部地区テスト、下旬に1年生にとっては初めての経験となる期末テスト（全学年実施）が予定されています。中学校のテストは、小学校と違って、自分のテストの5教科合計得点から学年順位等も結果として伝えていきます。3年生の東部地区テストでは、受験した生徒数が多いので、その得点状況から順位よりもわかりやすい偏差値を出しています。この偏差値は中学校卒業後の進路について検討する材料の一つとなるものです。

実は、埼玉県内の中学校では約30年前の平成5年に「偏差値」を学校現場で扱うことが平成28年ごろまで一旦なくなりました。それはなぜか。それまでの埼玉県内では、あまりにも自分の「偏差値」からの高等学校選びになってしまったからです。その高等学校のことをよく調べることなく「偏差値」で進学先を決める。当然、高校の中途退学者の増加が大きな課題となりました。「偏差値」を一旦扱わないことで、「自分の行ける学校選び」から本来の「自分の生きたい学校選び」になるようにと、まるで「偏差値」が悪者みたいになってしまいましたが、使い方、その考え方が誤っていただけであることは言うまでもありません。

順位や偏差値だけで自分の進路志望を決めるのは望ましいことではありません。また、テストの結果が良くても悪くても、点数だけで一喜一憂するのではなく、何ができていて何ができていなかったのかをしっかりと分析していくことで、次につながるはずです。

自分の将来就きたい職業や夢、そして志をもって、それを実現するために自分は今、どうしたらよいのか考え行動することが重要だと考えています。

一方、AIが私たちの生活によりものを与えてくれる社会が進化する中で、さらに良い方法を見つける力＝習得したものを活用する能力や創造する能力が皆さんには求められています。

学んだことをどう活かすか。ぜひ考えてみてください。

さらに良い方法がある・・・それを見つけよ
発明家エジソンの言葉です。

「志に燃える」一流を目指す富士中学校。今月もよろしくお願いします。